



2016年9月27日

報道機関関係者 各位

尚絅学院高等学校 「障害者と考える合理的配慮学習会」について

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、本校は「社会とのつながりを意識し、他社とともに生きる姿勢を育む」ことを教育活動の柱と位置づけております。本校インターアクトクラブは、仙台ロータリークラブの支援を受けながら、国際交流と奉仕を中心に活動をしており、仙台国際ハーフマラソン大会車いす部ボランティアを始め、様々な取り組みを行ってまいりました。来る10月5日（水）に、クラブ活動の時間を用いて、障害者と一緒に平成28年4月に施行された「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」について、差別解消と合理的配慮について理解を深め、意見を交換する場を持つこととなりました。今回は、東北大学大学院教育学研究科のご協力のもと、開催の前後で簡単なテストを行い、障害者との交流体験が与える潜在的な意識の変化を測ることになっております。

お忙しい時期とは存じますが、生徒たちが障害を持つ方たちとつながり、差別とその解消について学び、考える姿を是非取材頂き、報道下さいますよう宜しくお願いします。

尚絅学院高等学校
担当教員／白津 祈恵子
電話／022-264-5881

<「障害者と考える合理的配慮学習会」企画内容>

- 日 時：2016年10月5日（水） 16:30～18:00
- 会 場：尚綱学院高等学校 ギャラリー教室（八幡校舎1階）
- 目 的：①障害者に対する合理的配慮への理解促進
②前後における潜在意識の変化の測定
- 話し合いのテーマ：「一緒に考えよう！合理的配慮」
障害による差別を解消し、仙台を誰もが暮らしやすいまちにするために、
自分の所属や立場でできることを話し合う。
- ク ラ ス：尚綱学院インターアクトクラブ 部員20名
- 参加予定者：誰もが暮らしやすいまちづくりをすすめる仙台連絡協議会
代表 杉山 裕信 様
C I L たすけっと 加藤 純 様
全国膠原病友の会宮城県支部 運営委員 千葉 照之 様
- 協 力：東北大学大学院教育学研究科

<活動日程>

- 9月9日 事前テスト
- 10月5日 学習会、事後テスト
- 10月下旬 テスト結果分析